

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
市 関 連 事 業 に 対 す る ・ 補 修 要 望 及 び 地 区 内 の 主 要 道 路 の 新 設 改 良 の 実 現	道水路改良・補修等に係る地区要望	市土木事業 5月31日 市土木課へ提出 ・改良補修要望箇所 141箇所（うち追加緊急26箇所） 完了箇所 52箇所（36.88%） ・資材支給申請箇所10箇所（うち7箇所支給） 完了箇所 7箇所	各区の土木要望の取りまとめについては、地域振興委員会の各区長及び土木担当部長が行い、自治振興センターを通じて市へ報告書を提出した。クリーンセンター関連の地域振興協定で実現が難しく除外された案件については、地元で協議し来年度から地区要望として改めて掲載する必要がある。
	長野原線（市道2-49号線）の改良促進	・大井川流量調査の実施 期間；6月～12月 ・概略設計業務の実施 期間；11月～3月 ・対策委員会 2月21日 長野原区	地元の理解もあり、今年度は、道路改良の事業化に向けて、具体的大井川の流量調査や概略設計を実施することができた。事業化に向けて今後ますます両地区の役割が重要となる。
	市道2-51号北平念通寺線（旭街道）の改良促進	・工事説明会 11月10日 ・道路改良工事（施工延長L=134.1m） 工期；9月25日～3月16日	地権者の理解もあり、昨年度に引き続き、一部の区間について改良工事を進めることができた。水路改修工事等も残っており2～3年後に完了予定。
	樋入り井、市道23号線（上の坊線）の改良促進	・工事説明会 5月30日 ・道路舗装工事（施工延長L=130m） 工期；5月16日～7月14日	本年度予定していた一部区間の舗装工事については上半期に完了することができた。残りの未舗装部分については、一部の土地について国との手続きが完了次第、来年度以降舗装工事を行う予定である。
	建設諸事業推進・寄付用地代交付事業★	・各区に対する建設諸事業推進費400,000円 ・寄付による用地2件、用地代112,710円	道路建設基金については、980千円積立することができた。
県 関 連 事 業 に 対 す る 改 良 ・ 補 修 要 望 の 実 現	県道・河川改修等に係る地区要望	県道土木事業 8月28日 市国県リニア事業課へ提出 ・改良維持要望箇所 39カ所（うち追加緊急2箇所） 完了箇所 5箇所	各区の土木要望の取りまとめについては、地域振興委員会の各区長及び土木担当部長が行い、自治振興センターを通じて市担当課経由で県へ報告書を提出した。
	国道151号交通円滑化推進会議における提言活動	・鼎・松尾・川路・竜丘地区のまちづくり委員会の会長及び市議会議員、関係部課長、自治振興センター所長で構成 ・第1回交通円滑化推進会議 9月15日 ・県建設部長への提言活動 10月11日 ・飯田建設事務所長への要望活動 11月8日	鈴岡バイパス（仮称）の早期ルート確定及び早期事業化、「松尾八幡町を中心とした国道151号の右折レーン設置等交差点改良計画立案と早期事業化」を要望事項として取り組むことを確認した。 リニア駅や三遠南信道へのアクセス道路等の整備に重点がおかれている中で、中長期的な視点で他地区と協力し粘り強く要望活動を行わなければならない。
	都市計画道路「大明神原桐林工区」の実現	・国道151号交通円滑化推進会議における提言活動にあわせて要望活動を行った。	国道151号の交通円滑化の提言活動にあわせて、自治振興センターを通じて市担当課経由で県へ報告書を提出した。一部未同意の地権者もいることから、事業化については足踏み状態にある。

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
	米川 駄科 停線 知久街道の踏切 拡幅改良促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3者（駄科区・飯田市・長野県飯田建設事務所）による打ち合わせ 7月27日</li> <li>・ 駄科区と飯田市国県リニア事業課との打ち合わせ 8月8日、9月1日</li> <li>・ 駄科区による地権者交渉</li> </ul>	<p>駄科区により地権者との交渉を行ってきた。市担当課を通じて長野県と協議中である。</p>
	竜峡五地区県道 改良促進期成同盟会 における提言活動★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県建設部長への提言活動 10月11日</li> <li>・ 飯田建設事務所長への要望活動 11月8日</li> <li>・ 6地区女性委員による飯田建設事務所長への提言活動 地域振興委員会から女性2名出席 3月19日</li> </ul>	<p>竜峡五地区県道改良促進期成同盟会として、飯田建設事務所長及び県建設部長への要望活動を行った。実現にあたっては、引き続き、粘り強い継続的な提言活動が求められる。女性要望により、時又中村線の通行に関する看板設置が実現した。</p>
竜丘らしい原風景の維持及び快適環境の創出	古墳・遊歩道整備事業★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備委員会と古墳の会が連携し塚原二子塚・馬背塚古墳の雑草除去作業を実施</li> <li>・ 古墳整備作業と同日に白井秘境遊歩道の雑草除去作業、ギフチョウ公園除草作業を実施 5月27日 71名、8月19日 59名 10月14日 44名</li> <li>・ 4月～9月の期間について地区内個人へ除草作業の委託（196h）</li> </ul>	<p>古墳整備については、全体で行う3回の作業と春から秋にかけて定期的に地域内の個人へ委託して除草作業を行い、景観を保つことができた。</p>
	土地利用等検討推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地利用等検討委員会の立ち上げ</li> <li>・ 土地利用計画学習会の実施 3月12日 25名出席</li> </ul>	<p>2年間懸案事項であった土地利用等の検討について、委員会の構成メンバーを区長会で検討し、立ち上げることができた。</p>
	ガーデニング推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガーデニング寄せ植え講習会 1回実施 11月11日 参加者30名</li> <li>・ ひまわり、チューリップ畑の管理（竜丘保育園との連携） 5月19日、6月12日、7月8日、9月2日、11月30日</li> </ul>	<p>自然と親しむ保育を目指す竜丘保育園とのマッチングが実現し、園庭の芝植栽体験や遊休農地でのチューリップ球根掘りや球根を植える体験をしてもらうことができた。</p>
	教育施設の芝生化推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竜丘保育園園庭 実証開始 7月3日～ 植栽面積 10㎡（総面積21㎡） 養生期間における水やり当番（休日）の実施 7月8日～8月27日 述べ18日間、18人</li> <li>・ 長野原区民センター広場 実証開始 7月3日～ 植栽面積 57㎡</li> </ul> <p>芝の種類；（夏芝）ティフトン （冬芝）ペレニアルライグラス 技術指導；(有)小木曾グリーントーフ</p>	<p>売電収益の一部を活用して、保育園や長野原区に協力いただき、芝生化の実証2年目。芝生の生育状況は順調だった。園庭の芝生化については、維持管理面で主体が明確になっておらず保育園に負担をかけてしまっている状況にあり、実証事業のフィールドとして継続して拡大するか、別の候補地にするか検討する必要がある。</p>

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
<p>鶯流峡環境美化 推進事業★</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県道米川飯田線立木伐採業務委託事業（環境委員会連携）               <ul style="list-style-type: none"> <li>①委託業者；志可屋 区間；長野原～湯の瀬の湯 期間；12月6日～12月15日</li> <li>②委託業者；天竜川鶯流峡復活プロジェクト 区間；湯の瀬の湯西側の山側エリア 期間；2月19日～3月2日 10日間述べ54名参加（218h）</li> </ul> </li> <li>・ 天竜川鶯流峡復活プロジェクト活動支援 プロジェクト会議の開催 第1回5月10日（総会）、第2回10月5日</li> <li>・ 維持管理・竹林伐採作業               <ul style="list-style-type: none"> <li>①維持管理 4月～9月 6日間 述べ99名参加（18h）</li> <li>②竹林伐採 10月7日～2月28日 65日間 述べ289名参加（1294.5h）</li> </ul> </li> <li>・ 環境教育体験事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>①筍掘り体験 4月30日 15名参加</li> <li>②メンマづくり体験 5月7日 21名参加</li> <li>③メンマ用原料調達体験 5月18日 15名参加</li> <li>④竹いかだ製作と天竜川竹いかだ下り体験 7月15日 25名参加</li> <li>⑤自然観察学習 6月17日 12名参加 12月23日 18名参加</li> <li>⑥お花見舟下りツアー&amp;ゴミ拾い作業 3月31日 20名参加</li> </ul> </li> <li>・ 講習会事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>①メンマ加工味付け研究 5月16日・17日 18名参加</li> <li>②チェーンソー・伐採安全講習会 12月2日 19名参加 12月23日 18名参加</li> </ul> </li> <li>・ 各種イベント参加（長野原竹宵の会との連携） 竹宵まつり出展 6月3日 17名参加 竜丘文化祭ブース出展 11月12日 13名参加</li> <li>・ 「しあわせ桜（仮称）」の夜桜ライトアップ事業 3月28日～</li> <li>・ 教育支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>①飯田 OIDE 長姫高校 竹いかだの作り方講習と天竜川竹いかだ下り体験 7月15日 高校生並びにOB 9名参加</li> <li>②竜丘小学校5年生 総合的な学習時間に竹学習を支援 竹切り体験 2月22日・23日 (小学生59名+先生2名)</li> </ul> </li> </ul>	<p>天竜川鶯流峡復活プロジェクトについては、維持管理及び新たなエリアの竹林伐採を実施しながら、不法投棄の減少と良好な道路環境の維持に貢献することができた。</p> <p>この活動に興味を持った学生たちを継続的にサポートできるようになったことは、地域の将来を担う人材の育成という視点で大きな成果となった。</p> <p>「しあわせ桜（仮称）」の夜桜ライトアップを急ぎよ実施したところ地域資源の発掘と不法投棄の抑制、地域活性化につながる取り組みとなった。</p> <p>当プロジェクトの活動が地域内外に認知されつつある。持続可能な活動組織となるように、地域内の理解者を増やしながら、自立できる体制を確立していきたい。</p>

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
	<p>右岸さくらの会 支援事業</p> <p>天竜川美化活動 推進事業★</p> <p>里山保全活動推 進事業</p>	<p>右岸さくらの会作業への協力 水辺の楽校の整備作業への協力</p> <p>天竜川環境美化活動 ・アレチウリ駆除 7月2日 133名参加 ・環境美化作業 2月25日 162名参加</p> <p>ギフチョウ公園の整備作業は、除草作業のみで古 墳整備と同日に実施 8月19日</p>	<p>水辺の楽校、天竜川右岸さくら並木に ついては、関係する諸団体と協力して 管理作業を行った。また、天竜川環境 美化活動については、地域自治会の委 員はもとより、各区に協力を求め、地 域ぐるみで実施することで、アレチウ リの退治や除草・樹木の伐採等による 河川の環境美化に努めた。</p> <p>昨年度と同様にギフチョウ公園の整 備については、古墳・遊歩道作業にあ わせて実施することができた。来年度 は、環境産業公園連絡会の事業者にも 働きかけて里山保全活動を推進して いきたい。</p>
自然 エネ ルギ ーの 推 進	<p>地域自治会によ る太陽光発電事 業の取り組み★</p>	<p>・地域公共再生可能エネルギー活用認定事業報告 会への参加 1月26日 3名参加</p> <p>売電実績 16,381kwh/年 売電収入 639,763円/年 還元金額 100,000円/年</p> <p>・売電収入還元先 ガーデニング推進事業並びに芝生化実証事業に て活用した。</p>	<p>売電収益は、地域課題を解決するため の公益性の高い住民自治活動として ガーデニング事業並びに芝生化実証 事業に活用した。 当該事業に係るコンサルティングに ついては、おひさま進歩エネルギー (株)のサポートを受け円滑に運営す ることができた。 市固定資産税の減免申請により全額 減免となり、更なる還元投資が可能と なった。</p>
	<p>小水力発電実証 実験可能性調査 事業★</p>	<p>・大井川水力発電による売電事業計画説明会への 参加 2月21日 8名参加</p>	<p>太陽光発電事業と関連する事業(芝生 化・ガーデニング)の取り組みに精一 杯で小水力発電事業に対しての研究 に余力がないのが現状である。他地区 の小水力発電導入の動向を見ながら、 必要に応じて調査研究を進めていき たい。</p>
<p>地域内産業の連携促進及び産業強化に向けた環境つ くり支援</p>	<p>地元企業との懇 談等による経済 活動の側面的支 援</p>	<p>・桐林環境産業公園連絡会総会への出席 5月26日 役員3名出席</p> <p>・桐林環境産業公園周辺のごみ拾いへの協力 10月20日 役員13名出席</p> <p>・環境産業公園周辺道路沿いの支障木伐採工事 工事箇所；市道1-31号線、宮ヶ洞付近 工事期間；8月21日～31日</p> <p>・地域内事業者へのアンケート調査を自治会協力 費の納付書発送時期にあわせて実施</p> <p>・竜丘商工会議所竜丘支部共催 合同研修会並びに交流懇談会 2月15日 42名参加</p>	<p>桐林環境産業公園連絡会へ地域自治 会長及び地域振興委員長が出席し、 様々な視点から情報交換することが できた。</p> <p>側面的支援の一環として、事業者との 懇談会や地域の事業者に対するアン ケート調査の実施から、道路補修や安 全施設等について、地区要望をあげて 実現することができた。</p>

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
	元気の出る事業★	1 件採択 ・長野原竹宵の会 「東横フラワー緑道フェスタ出展事業」	限られた財源ではあるが、有効に利用いただけるように周知していきたい。リニア大交流時代を見据えて、今回のような地域外との交流する団体やグループに対して支援できるとよい。
	農業振興会議と連携し遊休農地対策推進事業への協力支援★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臼井原地区荒廃地へのめん羊飼育のための放牧地整備作業 5 月 17 日 15 名参加</li> <li>・総会並びに学習会の実施 7 月 31 日 3 名参加</li> <li>・土地活用会議の開催 11 月 15 日 6 名参加 新たな農産物栽培の可能性について</li> <li>・農業振興会議 人・農地プラン支援説明会の開催 3 月 5 日 5 名参加</li> </ul>	農業振興会議と連携し、臼井原地区の荒廃地にめん羊の放牧地として整備することができ、課題解決の一步を踏み出すことができた。
	地域ぐるみによる「地産地消」運動の展開★	<p>「竜丘産を食べまいか運動」ポスターの掲示継続</p> <p>天竜川鷲流峡復活プロジェクト、長野原笑ったり寄ったり（加工販売グループ）、(有)あちの里との連携によるメンマの製造と販売 販売売上額 133,000 円 (PJ 製造、70 千円、(有)あちの里製造 63 千円) (利益はすべて鷲流峡整備費用へ補てん)</p> <p>地域自治会委員活動手当の一部に商品券利用による地産地消の実践 商品券 500 円券 1,400 枚 (700 千円)</p>	<p>食べまいか運動の周知やポスターの更新等が課題となっており、再構築する必要がある。</p> <p>鷲流峡の維持管理のために伐採した 2~3m の竹の子を利用して、グループや事業者と連携し、竜丘産メンマの商品化と販売まで結びつけることができた。</p> <p>地域自治会役員手当を一律 5,000 円分について商品券化して、役員自らが地産地消に貢献することができた。</p>
隣接地区との交流・懇談の促進	まちづくり委員会交流・懇談会事業★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍江・川路・竜丘三地区交流懇談会の開催 (当番地区) 10 月 24 日 18 名出席 講演会 講師；熊谷晃 (長野県観光部長) 「リニア新時代を臨んだ地域ブランドの発信」</li> <li>・松尾・下久堅・竜丘三地区交流懇談会の開催 11 月 8 日 13 名出席 市有形文化財旧瀧澤医院の研修視察</li> <li>・伊賀良・竜丘地区交流懇談会の開催 12 月 4 日 18 名出席 研修会 講師；飯田市林務課 「財産区について」</li> </ul>	龍江・川路・竜丘との交流懇談会では、当番地区として講演会を企画したが、講演内容の評判がよく、地域活性化のヒントを得る良い機会となった。他地区の役員との交流を深めることは、地域の課題を共有しつつ、他の事業等で地域間協力をしやすくなることから、継続する必要がある。
地域自治会の情報発信機能の強化	ホームページデジタルアーカイブ構築事業	広報誌「たつおか四季報」の編集委員会の開催と発行、ホームページへの掲載。	広報誌「たつおか四季報」をカラー版で年 4 回発行した。公民館報との差別化、内容の調整が課題である。ホームページについては、基本構想や事業報告・決算など、地域自治会に関する情報発信を行っている。一部の事業については、Face book を活用した情報発信も行い、地区内外の方より反響を得ることができた。

平成 29 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
地域課題発見解決型に向けた資質の向上	視察研修事業	視察テーマ；河川敷の活用を探る 視察先；岡崎市 乙川リバーフロント地区 名古屋市 堀川 視察日；9月20日 参加者；19名	昨年度の市政懇談会のテーマだった河川敷の活用について、天竜川上流河川事務所より紹介いただいた2つの視察先を見学した。特に乙川リバーフロント地区のソフト面の取り組みは、大変参考になった。  来年度以降、河川敷の活用については、水辺の楽校の管理で課題を抱えている公民館とも連携し、地域内での話し合い等を重ねていく必要がある。